



今夜はどの子？

社会人 森 智子



うちの20歳の娘、日向子が作業所から帰ると真っ先にすること、それはアンパンマンシリーズのぬいぐるみの中から今夜一緒に眠る子達を選ぶことです。

ガイドヘルパーさんのお買い物で1体ずつ買ってきては、ほぼ全種類揃えたアンパンマンの仲間たち。ずらりとお行儀よく棚に並べて座っている中から、だんだんと増えて今は5体ほどを枕横に毎晩きれいに並べて眠ります。

帰宅するといつも真剣な顔でぬいぐるみを何体か小脇に抱え、今夜一緒に眠るメンバーを入れ替えます。

並べてはまた入れ替え、の作業を繰り返した後、やっとうろりとくつろぐのが日課です。

さて、今夜のメンバーはバイキンマンかな？ それともメロンパンナちゃんかな？

2021年度 ご寄付 (敬称略) 2022年3月末現在

一般社団法人親切会関西支部

2021年度 賛助会員 (敬称略・順不同) 2022年3月末現在

森 知子	三 浦 昇	平 井 陽 子	北 川 泰 寿	村 内 光 一
久 米 利津子	大 前 繁 雄	柴 田 圭 一	青 山 恵 里	牧 原 寛 之
大 米 はるよ	サンコウ消毒	森 田 順	井 上 尚 子	山 田 賢 司
長谷川隆行公認会計士事務所	飯 盛 隆 年	千 翔 有 峰	前 川 拓 郎	長谷川 幸
清水 清三郎	株式会社新井組	堀 江 史 子	中 島 忠 男	片 山 みどり
西宮市ボランティアセンター	平 見 有 美	市 原 博	秋 山 健 一	大 川 裕 紀
溝 口 利 弘	門 脇 秀 弥	栗 原 裕 実	塩 谷 健 介	山 本 輝
阿 部 雅 子	四 方 勝	中 村 喜 弘	上 中 登志夫	篠 原 正 寛
酒 井 幸 子	税理士法人岡&パートナーズ	社会福祉法人 一羊会	一羊園	すずかけ作業所
すずかけ第二作業所	武庫川すずかけ作業所	すずかけ労働センター	上甲子園すずかけ作業所	地域支援センター [ジョイント]
児童通所施設 [カノ]	久 保 廣 高	玉 村 悠 南	石 垣 知 美	福 原 隆 裕
山 口 有 香	黒 木 嘉 克	中 田 祥 貴	柿 坂 浩 史	田 中 あきよ
松 枝 千 尋	島 本 美 香	小 西 隆 弘	岡 克 明	谷 口 雄 大
三 木 さおり	中 本 綾 美	中 村 行 宏	岡 田 朱 加	西 前 珠 美
鈴木 明子	志 茂 拓 也	副 島 宏 克	吉 川 治 子	大 西 勝 代
匿名1名				

会員を募集しています

一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会は、知的障害者本人と保護者の会です。知的障害者への理解と社会への啓発に努力し、社会福祉の向上に寄与することを目的として、様々な活動をしています。

—— 正会員 ——

講演会、研修会に参加して知識を深めたり、会員同士の交流を通していろいろな情報を得たり、他にも楽しいイベントを企画しています。私たちと一緒に活動しましょう。

入会金：入会時 10,000円 (学齢期会員は免除)
年会費：10,000円 (学齢期会員は5,000円)

—— 賛助会員 ——

当会は、知的障害者がある人らしく生きていくための一助になることを願って、様々な活動をしています。賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

年会費：一口2,000円 (何口でも可)

—— お申し込み・お問い合わせ ——

一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47

TEL: 0798-33-7713 FAX: 0798-33-7743
E-mail: teni-tewo@nishi-ikusei.jp

編集後記

第85号ができました。皆さまに読んでいただけるよう広報部一同楽しく取り組みました。お忙しい中、快くご寄稿くださいました皆さま、心より厚くお礼申し上げます。




令和4年(2022年)7月20日
第85号
発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47
TEL 0798(33)7713
FAX 0798(33)7743



～今こそ、人とのつながりを大切に～

一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会
会長 本田 洋子



新型コロナウイルス感染症のパンデミックが宣言され、世界中が混乱するさなかの2020年5月、近藤前会長から西宮市手をつなぐ育成会のバトンを受け取りました。長引くコロナ禍で、私たちは自分たちの命と健康を守るために制限の多い生活を余儀なくされ、育成会活動の多くは中止や開催形式を変更せざるを得ない状況が続きました。そのような中でしたが、急速に進んだオンライン化にも対応しながら、全国手をつなぐ育成会連合会と兵庫県手をつなぐ育成会が発信し続けてくださる情報を会員の皆様にお届けできるようにと走り続けた2年間でした。

5月25日には、3年ぶりに西宮市フレンテホールにて定時総会を開催することができました。出席人数を制限し会員のみの規模を縮小した形ではありましたが、対面で開催できましたことを嬉しく思います。この度、理事・監事の任期満了による改選があり、引き続き会長に就任いたしました。甚だ微力ではございますが、新体制のもと力を尽くしてまいります。会員の皆様をはじめ、関係各所の皆様方には、今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

コロナの影響で直接話す機会は減ってしまいましたが、行政や関係機関との日頃のつながりの大切さを改めて感じています。本人や家族が感染した場合の心配事や事業所でのワクチン接種について、集団接種会場への不安、マスクが着けられない人への理解など、育成会から発信する要望に耳を傾けてくださり、ご対応いただきましたことに御礼申し上げます。これからも、障害のある人と家族の立場から声を届けていきたいと思っております。

まだまだ先行きは見通せませんが、新型コロナウイルスの感染が落ち着いていけば対面で、感染拡大時にはオンラインを活用するなど、状況に合わせて少しずつ集まる機会を作っていきたいと考えています。コロナ禍では、自由に会いたい人に会うことができない辛さを経験し、顔を合わせて話をすることが本当に大事だったのだと実感された方も多いのではないのでしょうか。また、自然災害が多発している昨今、いざという時お互いに助け合えるよう身近な地域でのつながりも大切になっています。地区毎を意識した活動として、居住地での会員同士の交流がはかれるようにサロン活動の実施を予定しています。ぜひご参加いただき顔見知りを増やしてください。誰もが心身ともに疲れ切ってしまった今、本人さんや会員の皆様と楽しい時間を過ごし、一緒に心を癒していくことができればと思います。

最後になりましたが、厳しい状況の中で日々、私たちの生活を支えてくださる皆様方も本当にご苦労が多くお疲れのことと存じます。心から感謝いたしますと共に皆様のご健康をお祈り申し上げます。

2022年度、副会長を務めることになりました社会人所属の泉明子です。2018年度に初めて副会長に就任してから、早いもので3期目になります。娘は今年で24歳。2017年3月に芦屋特別支援学校を卒業後、企業で働き始め6年目を迎えました。



泉 明子

アレルギー体質のため、未だに「鼻水がとまらないので帰ります」とラインが送られてきて、早々と早退してくることもあります。周りの方に本人の特性を理解・サポートしていただきながら軽作業を担っています。育成会に入会したのは2013年。みやっこ会議「しごと部会」に他団体から参加していた際、当時の山本会長にお声をかけていただいたのがきっかけでした。当時、育成会の名前はよく知っていたものの、とても大きな組織で遠い存在に感じていたものです。

2016年度から事務局員として関わりを持たせていただきましたが、事務所にはほとんど行けず会議もお休みをいただくことが多く、事務局員とは名ばかりでした。「事務所にほとんど行けない」状況は、副会長に就任してからも変わっておらず任務を全うできておりませんが、会員のみなさまに「育成会に入会して良かった」と思っていただけのように、また、学齢期など未入会の方からは「育成会に入りたい」と興味を持っていただけるよう、今後の育成会の在り方について思いを深めていきたいと考えています。一年間どうぞよろしく願いいたします。

理事になって今年で5年目を迎えます。

あれは2年前、何もうわらないままに副会長という大役につき、「私？副会長だなんて！」と嘆いている暇もなく、新型コロナウイルス感染症の流行がやってきました。TVを観ても、怖いニュースで毎日心配ばかりでした。誰も経験したことのない緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置、生活の自粛を余儀なくされる日々に入ります。



梅谷 正子

理事や事務局員、各所属の委員の皆さんと共に、コロナ禍を右往左往しながら、前例のない活動をした2年間でした。

今年こそは、アフターコロナに期待しながら、世の中がどのように変化するのか、戻るのかを見極め、会員、本人会員、ご家族が、一緒に育成会の活動を楽しみ、意味のある活動の環境づくりをしたいと思っております。

コロナ禍で経験したことをポジティブに捉え、無駄なものはなくし、合理的な良い点を活かして活動ができるようにと望んでいます。

私が育成会での活動の中で困っていることは、会員の名前と顔が一致していない点です。歴史ある育成会の副会長でありながら失礼ばかりをお許しください。

これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年26歳になる息子が、上甲子園すずかけ作業所の自立訓練を修了し、すずかけ作業所に通所し始めた頃、お声をかけていただき私でもお役に立てるならお手伝いのつもりで事務局に入りました。



高士 文緒

月日のたつのは早いものです。ここ数年は皆さんのお力を借り、事務局長の立場で活動を支えてまいりました。その間新型コロナウイルスの影響で世の中が大きく変わり、育成会も活動自粛を余儀なくされ、今までにない状況の中で模索しながらもなんとか一歩一歩進む日々でした。それは現在も進行中です。

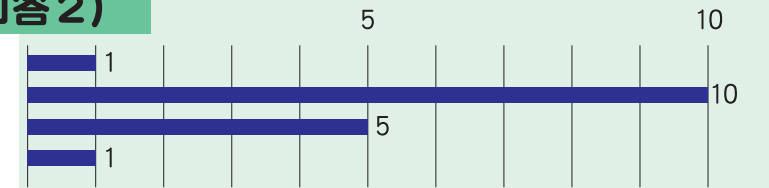
そのような状況の中、この度、歴史と実績のある育成会の副会長の重責を担うことになりました。諸先輩方の活動の実績を思うにつけ、こんな大雑把な性格の私に務まるのだろうか？と重圧に押しつぶされそうですが、私なりにできること、世の中の変化を前向きにとらえ、感謝の心を持ちニコニコ笑顔で楽しみながら目の前のやるべきことを一つ一つ大切にやっていく。それしかないと思っています。

未熟な私ですがどうぞお力添えくださいますようお願い申し上げます。

学齢期会員さんに聞きました 子どもの将来について

Q1 進路先について (複数回答2)

- ・一般企業に就職
- ・働くことを中心にした事業所
- ・ケアを中心とした事業所
- ・入所の事業所



【作業所に通ってみて】

社会人 森 智子

娘の日向子が芦屋特別支援学校を卒業し、作業所に通い出して2年が経ちます。主なお仕事は100均の商品の組み立てやほこり拭きなどほぼ座っての作業ですが、作業以外にも畑での収穫、季節ごとの行事や催しなどのお楽しみもあります。早くからあちこち見学に行ったもののなかなか決まらず不安の多い作業所探しでしたが、その頃定期検診でお世話になっていた先生から「作業所の雰囲気はスタッフさんが変わると変わってしまうこともあるので、一番大切なのは本人が居心地よく過ごせる場所かどうか。」と言われたのが印象に残っています。

最初はトイレに何度も行ったりと落ち着かない様子でしたが、心配だった集中力も徐々につき、作業の手順なども覚えて今は落ち着いてよく頑張っているようです。

毎朝気合いをいれた様子で元気に休むこともなく通い、休憩時のコーヒーや配達のお仕事、日中一時、ガイドさんとのプールなどを楽しみに働いています。

今では作業所がしっかりと本人の中で居場所となっているのだなあ、と改めて感じました。



Q2 親亡き後の生活の場について (複数回答2)

- ・きょうだいと一緒に生活
- ・結婚して家族を持つ
- ・一人暮らし (支援なし)
- ・重度訪問介護等を利用して一人暮らし
- ・グループホーム
- ・入所の事業所
- ・無回答



【のびしろはある】

武庫川すずかけ作業所 豆柄 幸子

グループホームでお世話になってから早16年が経ち、今年で43歳になりました。様々なイベント(誕生日会、忘年会、ハロウィーン、かき氷の会、たこ焼きの会等)を5人の利用者で楽しみ、また、本人の興味に合った余暇活動(パズル、文字練習、ぬり絵、お絵かき等)を用意していただき、作業所から帰った後も、楽しい時間が過ごせたように思います。生活を送る上での家事の一端にも声をかけていただき、洗濯物干しや取り入れ、朝食作り、コーヒー入れ、掃除等もしていたようです。特に家に帰る前の日の部屋の掃除機かけは率先して出来たようです。家では上げ膳据え膳で何もしませんが、たまに手伝ってくれるときに「こんなことも出来るの。」と驚かされます。

でもやはり家が一番。月曜日、出勤させるのに苦労しています。作業所でもグループホームでも少しずつですがまだまだ成長し続けています。全ての障がいをもつ人達がそんな機会をもてるように、私達親は手を取り合ひましょう。



Q3 子どもの将来について思うこと

- ◇ 自立に向けた訓練をひとつずつ他者とかかわりながら身につけられるように考えています。ばくぜんと就労B!めざしたい。めざせるといいなー 今が必死なので先のことがわかりません
- ◇ 子どもの将来について不安だらけですがいろんな情報をいただいて、うちの場合はどうなるんだろう?とシミュレーションしています。まずは子どものこともそうですが、親が元気でいて体も頭も動いているうちにある程度の決められることを決めていき、託せるところに託していきたいと思っています。
- ◇ 学齢期はまだ児童デイサービスがあって本当に恵まれていましたが、社会人はありません。そのために仕事をやめなければいけないなんて方は、理不尽すぎますね。児童デイサービスに相当するようなサービスを公立、私立で作っていただけないのでしょうか。障害者本人の権利を大切にしてくださるデイや送迎サービス、不足しているガイドヘルパーさんの増員をお願いしたいと思っています。

このアンケートを実施したのは、2020年10月。掲載が遅くなり、申し訳ございません。ご協力いただいた会員の皆さま、ありがとうございました。

新しい体制で出発！！

余暇支援事業部

昨年度は、成人部、学齢期部、余暇活動部と別々に活動していましたが、余暇支援事業部として以下のように進めてまいります。

①サロン活動

各所属の中では会員同士の交流があり、顔が見える関係が築けていると思います。ただ災害時などは居住地でのつながり、助け合いが必要な場合があるのではないかと。それに備えて、居住地での会員同士の交流をはかり、顔が見える関係を築くことを目的として、地区ごとを意識して進めていきたいと思っています。また学齢期の親睦会は、継続しておこないます。

②余暇活動

知的障害のある本人や会員のみなさんに対して、楽しい時間を過ごせるような事業を計画します。



山口ひとみ

初めての理事就任で、不安は大きいですが、前向きに、楽しんで取り組みたいと思っています。



中川 啓子

新理事の武庫川すずかけ所属の中川啓子と申します。余暇支援事業部担当になりました。コロナ禍ではありますが、楽しい企画が出来ればと思っています。初めての理事で気が付かないことも多いかと思いますが、よろしくお願いいたします。

啓発事業部

知的障害の特性や感覚などを体験ワークや展示活動をすることにより、知的障害のある人への理解を深め、育成会の活動の周知を図りたいと思っています。

①西宮啓発隊「輪・和・WA」

②2022年度はアート展の開催はありませんが、今後の開催に向けての準備を進めます。

③機関誌「手に手を」の発行。

④にしのみや市民祭りに参加。



加治 宏美

今年度より啓発事業部になりました「輪・和・WA」です。障害特性を疑似体験するワークショップを通して、障害理解への啓発活動を行っています。今年度は社協主催のあいサポート運動にも取り組んでいきたいと思っています。



高野美希子

今年度、会計とアート展を担当することになりました。今年度は「はばたくアート展」の開催はありませんが、今後に向けての準備期間になっています。皆様の素敵なアイデアを募集中です。よろしくお願いいたします。



酒井 章乃

今年度、機関誌、ホームページ、フェイスブックなどの広報と市民祭りを担当します。今まで育成会会員として、見て、聞いて、感じてきたものを、部の皆さんと一緒に発信していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

研修事業部

昨年度は、成人部、オープンセミナー部と別々に活動していましたが、研修事業部として以下のように進めてまいります。

①オープンセミナーを秋に2回開催します。

②福島弁護士による研修会（相談会）を毎月1回開催します。

③その他の研修会として年代別の研修会の企画や県育成会等の研修のご案内もを行います（学齢期の施設見学等）



山口 朱美

今期は会計と研修部会を担当いたします。まだまだ勉強することばかりですが、部員のみなさんのお力をお借りして、よりよい研修会・多くの情報をみなさまにお届けできるように努めます。どうぞよろしくお願いいたします。



西澤 和代

研修事業部と本人活動支援事業部を担当させていただくことになりました。経験がないため勉強不足で不安で一杯ですが、前任の方々に助言をいただき、部の方に力を貸していただき、仕事をこなしていければと願っています。よろしくお願いいたします。

会計

担当 高野美希子・山口朱美

会計業務は、主に日々の入出金の管理や、慶弔見舞をお渡ししたり、会費の引き落とし手続きなどを行っています。みなさまからお預かりした大切な会費を、間違いなく、無駄なく、処理していくように努めます。

超アナログ人で、最初に教わったのは、パソコンの電源の入れ方です。やさしい先輩方に手取り足取りご指導いただきながら、悪戦苦闘中です。どうぞよろしくお願いいたします。（高野美希子）

事務局



杉田 朋子

まだわからないことだらけですが、お忙しい中でも先輩方が丁寧にご指導くださるので、少しでも早く会員の皆様のための働きができるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



伊藤 啓子

思いもかけず10数年ぶりに事務局に参加させていただくことになりました。周りを見渡すと娘のように若い方々、新しい情報や技術を教えてもらい、脳を活性化させては・・・どうぞ皆様、お手柔らかに。気持は新人ですので宜しくお願い致します。



室田 英子

パソコンが苦手にも関わらず事務局員を引き受けましたが、皆さまから指導いただき学んでいます。時にスキルアップを感じると嬉しくなります。皆さまとの出会いにご縁に感謝しています。

本人活動支援部

担当 山口 ひとみ 西澤 和代

知的障害のある人の活動「のじぎくの会」を見守り支援します。

第8回

知的障害児・者 作品展

はばたくアート展



Part1 2021年10月2日(土)~29日(金) 札幌筋ストリートギャラリー
Part2 2022年3月1日(火)~30日(水) ららストリート(ららポート甲子園)

「はばたくアート展を終えて」

川条 正美
木野 英子

コロナ禍により、思いがけないかたちでの開催となったアート展ではありましたが、監修して下さった行永垂矢先生をはじめ、多くの方々のご協力により、無事展示することができました。個性あふれる素敵な展示作品をたくさんの方が見てくださり、またそれが育成会を知るきっかけになったのでしたら嬉しく思います。魅力的な作品を創ってくださったみなさんはもとより、ご支援くださった全ての方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

外部理事の紹介



森 知子理事



市原 博理事



松枝 千尋理事

監事の紹介



音川 礼子監事



近藤 眞由美監事

外部理事の退任



塩谷 健介前理事

2年間外部理事を務めてくださった塩谷健介前理事が退任されます。塩谷前理事、ありがとうございました。

退任理事の紹介



山根佐代子前理事



西 眞弓前理事



波來谷多恵子前理事



木野 英子前理事



丸尾 恵子前理事



川条 正美前理事

任期中は、会員の皆さまにたくさんのご協力をいただき、本当にありがとうございました。

2022年度定時総会を開催しました

3年ぶりに西宮市フレンテホールにて2022年度定時総会を開催しました。

コロナ禍のため、人数を制限しての開催となりましたが、久しぶりの再会にみなさん笑顔があふれていました。

長年育成会活動に尽力された近藤眞由美前会長が、2021年12月20日に開催された一般社団法人発足記念式典(全国大会代替式典)において「令和3年度全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰」を受賞されました。議案審議の後、本田会長よりお祝いの花束の贈呈があり、拍手に包まれました。

(報告 梁漢順 松本真理 小林日奈子)

